

平成18年度の科学技術に関する予算、 人材等の資源配分の方針(案)

- モノから人へ 機関における個人の重視 -

平成17年6月16日
総合科学技術会議

平成18年度資源配分方針策定の基本的考え方

平成18年度は、第3期基本計画の初年度
「科学技術基本政策策定の基本方針」を踏まえ策定

社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術

3つの理念と6つの政策目標に沿って推進

理念 : 「人類の英知を生む」、「国力の源泉を創る」、「健康と安全を守る」

政策目標: 飛躍知の発見・発明、科学技術の限界突破、環境と経済の両立
イノベーター日本、生涯はつらつ生活、安全が誇りとなる国

創造的人材の強化と競争的環境の醸成

- 「モノから人へ」「機関における個人の重視」

科学技術の戦略的重点化

- ・ 基礎研究の推進
- ・ 重点4分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)及びその他の分野の着実な推進
 - それぞれの分野内でも重要な領域を更に絞り込み、選択と集中を一層推進

科学技術システム改革の推進

- ・ 競争的研究環境整備のための資金配分
 - 基盤的資金と競争的研究資金の適切なバランスとその実現方策の検討
 - 政府研究開発データベースの整備と活用
- ・ 科学技術人材の育成と活躍の促進
 - 若手研究者、女性研究者、外国人研究者、多様な人材が活躍できる環境を整備

社会・国民に支持される科学技術

- ・ 自然科学と人文・社会科学を合わせた総合的取組の推進
- ・ 科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題に責任をもって取組

国際的な取組の戦略的推進

- ・ 目標を明確化し、特にアジア諸国との連携を強化

平成18年度科学技術関係予算の改革

(1) 優先順位付け(SABC)等の改善

- ・ 優先順位付けの観点に、科学的メリットの観点に加え、**国民への成果の還元**の視点(科学技術が何を指すのかについての具体的な政策目標)**を追加。**
- ・ 真に重要な施策等への資源の重点的配分のため、**一層メリハリの効いた優先順位付け**を実施。結果は公表し、本会議に報告。

(2) 独立行政法人・国立大学法人等の 科学技術関係活動の把握・所見とりまとめ

- ・ 科学技術関係予算の大きな割合を占める**独立行政法人・国立大学法人等の科学技術関係活動**について、指標等により**把握し、所見のとりまとめ**を行うことを**新たな取組**として実施。
- ・ 法人の自主的な改革努力の促進や関係府省による政府予算案策定などに資する。結果は公表し、本会議に報告。

(3) 科学技術連携施策群(連携施策群)の本格的推進

- ・ 府省間の縦割りによる弊害を排除し、**不必要な重複排除、連携強化のため、連携施策群の活動を本格的に推進。**

< 連携施策群のテーマ >

- ・ ポストゲノム
- ・ 新興・再興感染症
- ・ ユビキタスネットワーク
- ・ 次世代ロボット
- ・ バイオマス利活用
- ・ 水素利用 / 燃料電池
- ・ ナノバイオテクノロジー
- ・ 地域科学技術クラスター

(4) 研究開発の評価の徹底

- 各府省において新大綱的指針に基づく**評価の実施を徹底**。厳正な評価の結果を踏まえ、施策等の重点化、整理・合理化・削減を実施。
- 総合科学技術会議は、国家的に重要な研究開発を評価し、結果を公開するとともに、推進体制の改善や予算配分に反映。